



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月5日
東

上場会社名 株式会社エムケイシステム

上場取引所

コード番号 3910

URL <https://www.mks.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三宅 登

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括

(氏名) 竹本 清志

TEL 06-7222-3394

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	722	△1.8	58	—	57	—	33	—
2026年3月期第1四半期	735	8.3	△35	—	△32	—	△35	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 32百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △37百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	6.12	—
2026年3月期第1四半期	△6.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,104	899	42.4
2026年3月期	2,276	910	39.6

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 892百万円 2026年3月期 902百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	3,300	1.3	270	8.9	260	5.1	192	△25.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	5,428,000株	2026年3月期	5,428,000株
2027年3月期1Q	506株	2026年3月期	506株
2027年3月期1Q	5,427,494株	2026年3月期1Q	5,427,494株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の景気は、緩やかに回復しているものの、中東情勢の影響を注視する必要がある状況で推移しました。個人消費は持ち直しの動きがみられ、企業収益及び雇用情勢にも改善の動きがみられました。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかな回復が続くことが期待される一方、中東情勢の影響や金融資本市場の変動等に注意を要する状況が続いています。

当社グループを取り巻く事業環境においては、人手不足や働き方の多様化、行政手続のデジタル化を背景に、人事労務業務の効率化及び高度化に対するニーズが高まっています。また、生成AIをはじめとするAI技術が急速に進展する中、人事労務分野においてもAI活用への関心が高まる一方、正確性、個人情報保護及び法令遵守を確保したサービス提供が求められています。

当社グループの主要な顧客層である社会保険労務士業界においては、社会保険労務士法の改正により、労務監査が社会保険労務士の業務に含まれることが明記され、社会保険労務士が担う専門的業務の範囲が改めて明確化されました。また、同業界においても、業務の高度化及び効率化に向けたAI等のデジタル技術の活用への関心が高まっています。

このような状況下、当社グループは、「AI社労夢」のリリースに向けた開発及びセミナー等を通じたプロモーション活動に注力いたしました。あわせて、コスト構造の見直しを継続し、収益基盤の強化に取り組みました。

なお、売上高は、社労夢事業が増収となった一方、CuBe事業において一部案件の立ち上がり及び売上計上時期が前年同四半期より後ろ倒しとなったことから、前年同四半期を下回りました。利益面では、社労夢事業における売上原価並びに販売費及び一般管理費の減少に加え、CuBe事業において前年同四半期に発生した不採算案件の影響が解消したこと等により、大幅に改善しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は売上高722,355千円（前年同四半期比1.8%減）、売上総利益381,150千円（前年同四半期比31.5%増）、営業利益58,494千円（前年同四半期は35,188千円の営業損失）、経常利益57,419千円（前年同四半期は32,977千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益33,239千円（前年同四半期は35,577千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。また、当社グループが重要な経営指標と考える自己資本利益率（ROE）は、連結ベースで3.7%（前年同四半期は△5.6%）、当社単体では4.7%（前年同四半期は3.7%）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

（社労夢事業）

社労夢事業では、社会保険労務士事務所、労働保険事務組合、一般法人向けに、社会保険・労働保険・給与計算等の手続きを支援する業務ソフトウェアを提供しております。主力製品である「社労夢（Shalom）」シリーズを中心に、「マイナンバー管理システム『マイナボックス』」や「WEB年末調整システム『eNEN』」など、各種クラウドサービスを展開しています。

当事業では、既存顧客基盤を背景にASPサービス売上高が堅調に推移し、増収となりました。利益面では、IDC経費及びソフトウェア償却費の減少による売上原価の低減に加え、業務委託費等の販売費及び一般管理費が減少したことにより、前年同四半期比で大幅な増益となりました。また、今後の成長に向けた取り組みとして、「社労夢」にAI機能を搭載した「AI社労夢」のリリースに向けた開発及びセミナー等を通じたプロモーション活動を進めました。

以上の結果、社労夢事業の売上高は604,679千円（前年同四半期比1.4%増）となり、そのうち、ストック収益であるASPサービス売上高が571,790千円（前年同四半期比1.3%増）、システム構築サービス売上高が15,215千円（前年同四半期比9.1%減）となりました。売上総利益は339,887千円（前年同四半期比15.9%増）、営業利益は73,472千円（前年同四半期比140.8%増）となりました。

今後も収益基盤の強化に努め、安定した業績の拡大を目指してまいります。

(CuBe事業)

CuBe事業では、大手企業の人事総務部門を対象に、業務プロセスの効率化を目的とした個別カスタマイズ型フロントシステムの受託開発を行っております。また、大手企業向け受託開発で蓄積したノウハウを活用し、中小企業向けに利便性を重視したクラウドサービス「GooooN」の提供にも注力しております。

フロントシステムの受託開発においては、一部案件の立ち上がり及び売上計上時期が前年同四半期より後ろ倒しとなったことから、売上高は前年同四半期を下回りました。一方、利益面では、前年同四半期に発生した不採算案件の影響が解消し、外注費等の売上原価が減少しました。これにより、売上総利益は黒字に転換し、営業損失も前年同四半期から大幅に縮小しました。

以上の結果、CuBe事業の売上高は119,674千円（前年同四半期比15.3%減）、売上総利益は41,690千円（前年同四半期は2,976千円の売上総損失）、営業損失は18,441千円（前年同四半期は68,227千円の営業損失）となりました。なお、CuBe事業の営業損失については、のれん償却額9,705千円が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ120,728千円減少し、1,375,544千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加87,325千円、売掛金の減少228,942千円によるものであります。

また、固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ51,721千円減少し、728,593千円となりました。主な要因は、ソフトウェアの減少36,006千円、繰延税金資産の減少17,617千円によるものであります。

以上の結果、総資産の残高は前連結会計年度末に比べ172,450千円減少し、2,104,137千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ181,385千円減少し、937,564千円となりました。主な要因は、買掛金の減少58,877千円、短期借入金の減少50,000千円、未払法人税等の減少40,275千円、賞与引当金の減少38,002千円によるものであります。

また、固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ19,456千円増加し、266,781千円となりました。主な要因は、長期借入金の増加15,364千円によるものであります。

以上の結果、負債の残高は前連結会計年度末に比べ161,929千円減少し、1,204,345千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における株主資本は、前連結会計年度末に比べ10,180千円減少し、892,144千円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少10,180千円によるものであります。

以上の結果、純資産の残高は前連結会計年度末に比べ10,521千円減少し、899,791千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月8日に公表した「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の内容に基づいております。

当第1四半期連結累計期間において、CuBe事業は一部案件の立ち上がり及び売上計上時期が前年同四半期より後ろ倒しとなったことから、売上高は前年同四半期を下回り営業損失となりましたが、連結業績では営業利益を計上しております。同事業につきましても通期では黒字化を見込んでおり、業績予想に変更はありません。

今後の業績の推移等により、見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	751,186	838,512
売掛金	675,502	446,559
商品	9,766	13,807
仕掛品	12,087	31,987
貯蔵品	506	519
前払費用	46,021	43,870
その他	1,643	784
貸倒引当金	△441	△497
流動資産合計	1,496,273	1,375,544
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	87,722	84,587
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	15,117	13,296
有形固定資産合計	102,840	97,883
無形固定資産		
ソフトウェア	418,252	382,245
ソフトウェア仮勘定	—	13,699
商標権	181	147
電話加入権	1,218	1,218
のれん	19,411	9,705
無形固定資産合計	439,063	407,016
投資その他の資産		
出資金	70	70
差入保証金	168,221	170,241
繰延税金資産	67,406	49,789
破産更生債権等	—	102
その他	2,713	3,592
貸倒引当金	—	△102
投資その他の資産合計	238,411	223,692
固定資産合計	780,315	728,593
資産合計	2,276,588	2,104,137

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	90,442	31,564
短期借入金	300,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	313,669	301,987
未払金	113,572	112,649
未払費用	16,054	17,965
未払法人税等	50,723	10,448
未払消費税等	60,417	34,124
前受金	92,039	110,249
賞与引当金	74,363	36,360
その他	7,667	32,215
流動負債合計	1,118,949	937,564
固定負債		
長期借入金	226,001	241,365
退職給付に係る負債	21,324	25,416
固定負債合計	247,325	266,781
負債合計	1,366,274	1,204,345
純資産の部		
株主資本		
資本金	219,110	219,110
資本剰余金	202,122	202,122
利益剰余金	481,591	471,411
自己株式	△499	△499
株主資本合計	902,325	892,144
非支配株主持分	7,988	7,647
純資産合計	910,313	899,791
負債純資産合計	2,276,588	2,104,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	735,582	722,355
売上原価	445,727	341,204
売上総利益	289,854	381,150
販売費及び一般管理費	325,042	322,656
営業利益又は営業損失(△)	△35,188	58,494
営業外収益		
受取配当金	1	1
受取保険金	3,000	—
受取賃貸料	10,956	10,956
業務受託料	900	900
その他	766	570
営業外収益合計	15,624	12,428
営業外費用		
支払利息	3,336	3,398
賃貸収入原価	9,993	9,993
その他	83	111
営業外費用合計	13,413	13,503
経常利益又は経常損失(△)	△32,977	57,419
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△32,977	57,419
法人税、住民税及び事業税	751	6,903
法人税等調整額	3,433	17,617
法人税等合計	4,185	24,521
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,163	32,898
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,585	△341
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△35,577	33,239

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,163	32,898
四半期包括利益	△37,163	32,898
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△35,577	33,239
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,585	△341

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	596,369	139,213	735,582	—	735,582
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	2,157	2,169	△2,169	—
計	596,381	141,370	737,751	△2,169	735,582
セグメント利益又は損失(△)	30,507	△68,227	△37,720	2,532	△35,188

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	604,675	117,679	722,355	—	722,355
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	1,995	1,998	△1,998	—
計	604,679	119,674	724,354	△1,998	722,355
セグメント利益又は損失(△)	73,472	△18,441	55,031	3,462	58,494

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	92,435千円	82,899千円
のれんの償却額	9,705千円	9,705千円